

募集①：新規用途 規格外の牧草・作物種子に新たな価値を生み出す活用アイデア



当社は、牧草を中心に20種類以上の種子を取り扱っています。時間の経過により、品質管理基準以下の発芽率に低下したものは販売できず、相当量が廃棄されています。こうした種子を新たな資源と捉え、これまでにない価値や用途を生み出す技術・アイデアを募集します。規格外種子そのものや、原料としての利用に加え、播種・発芽させた後の植物体を利用する提案も対象です。アイデア段階、農業・種苗分野以外で培われた技術の応用提案も歓迎します。

キーワード

種子利活用

- 【具体例】 「素材・資材」—— 種子、発芽・生育後の植物体を乾燥・粉碎・繊維化する。他の素材と混ぜて成形し、包装・緩衝材、紙・繊維系資材、ボード・パネル、各種成形材などの原料にする。
- 「緑化・環境保全」—— 種子を発芽させ、災害復旧時の緑化や法面・裸地の植生回復に用いる。植生基材や植生マットに組み込み、表土流出を抑制する。
- 「エネルギー」—— 種子、発芽・生育後の植物体を乾燥・粉碎・圧縮し、ペレットなどの固形燃料にする。発酵によりバイオガスに転換する。

提案にあたっての条件・留意事項

「種子・植物体の食用利用」—— 食用を前提とした提案は、種子表面に殺菌用の薬剤処理が施されている場合があるため、対象外とします。

スタートアップ・研究者等へのメッセージ

毎年発生する未利用種子を、新たな資源へ変える技術とアイデアを求めています。

種子そのものの活用に加え、発芽・生育させた植物体の利用、加工・転換技術、循環の仕組みづくりなど、幅広い提案を歓迎します。当社の種子に関する知見と、皆さまの異分野の技術を組み合わせ、新しい価値の創出を目指します。

関連リンク

- 取り扱い種子リスト [\[カタログ一覧：外部リンク\]](#)
- 研究分野の取り組み [\[各研究分野の取り組み：外部リンク\]](#)

募集テーマに関連する実績・アピールポイント

事業実績：

牧草・飼料作物種子で国内トップシェアを有する。北海道・千葉・宮崎の3研究農場を研究開発拠点とし、国内外で生産・調達した種子を品質検査し、全国3か所の種子センターで製造、全国へ供給する。食品加工副産物などの未利用資源を活用した資材開発にも取り組む。

売上高：477億1,400万円（2026年3月期決算）

提供アセット：

- ①種子のサンプル提供 —— 最大100kg程度まで無償提供が可能。郵送、札幌市厚別区の種子センターでの引き渡しにも対応。
- ②長沼町の研究農場 —— 連携内容に応じ、試験・研究フィールドとして提供可能。発芽・生育後の植物体を用いた試験にも対応可能。

企業HP

